

# いよいよ、今週4月10日(日)は、 富山県議会議員選挙投票日です。

わたしたち、一人一人の職員が、  
自分や家族の生活、患者や住民の健康と暮らし、地域経済や東日本大震災の復興を  
真剣に考え、自らの貴重な権利をしっかりと行使しましょう。  
また、当日都合の悪い方は、是非「不在者投票」を行いましょう。

⇒富山県内ならどこでも、中学3年生まで医療費は無料に！  
⇒小学校3・4年生は急いで35人学級に！  
⇒災害危機にそなえ、いのちを守り、人にやさしいまちづくりを！  
⇒税金の無駄遣いをやめて、もっと教育と福祉と雇用対策にお金を！

## そんな願いを実現する県政を望みます

県単独医療費助成制度の維持拡充や特別養護老人ホームの増設、  
国道8号線の高架橋や巨大な新湊大橋、北陸本線のJR経営分離等、  
富山県政と県議会は私たちの医療・福祉・教育に大きく関わっています。  
また、東日本大震災は県政の在り方も鋭く問いかけています。

隣県石川には志賀原発が、呉羽山には活断層がある富山県でも、いざという時の備えだけでなく、  
日頃からの「安心して暮らせる福祉と防災のまちづくり」に向けて、予算の使い方や行政の優先順位  
など、県や市町村の県民本位の姿勢が決定的に重要です。  
地方自治体が公的な責任を果たす事なく、住民の自己責任ばかりを追及する社会でなく、  
国民の権利としての社会保障を重視し、住民の命とくらしを守り、  
人と人のきずなを強める社会を実現しましょう。



今回の県議会選挙は、私たちの願いを意思表示し実現する絶好の機会です。

全日本民医連が発行した「それでも、生きたい」のビラ（各部署に配布済）やDVD、  
全日本民医連のホームページの震災支援の動画ニュース（NO2）もご覧ください。